

令和 7 年度

登米市水道事業会計当初予算の概要

	ページ
1. 令和 7 年度水道事業の主要事業及び予算について	3
2. 資本的支出財源内訳	9

宮城県登米市

1. 令和7年度水道事業の主要事業及び予算について

1 事業運営方針

水道事業は、近年の人口減少や節水機器の普及による水需要の低迷に伴う給水収益の減少により、経営状況は厳しさを増しております。

こうした厳しい状況のなかでも、持続可能な水道事業の実現に向け、令和5年9月に水道料金の改定を行いました。また、経営の中期的な計画として令和6年3月に「登米市水道事業経営戦略」を改定し、経営基盤強化等の取り組みを進めているところです。令和7年度においても、計画達成に向け事業執行と健全経営の両立に努めてまいります。

今後の上下水道事業の基本理念と長期的に取り組むべき経営課題に対する施策等を示すため、令和6年度から令和7年度にかけて、水道ビジョンの見直しと下水道ビジョンの策定を併せた「登米市地域上下水道ビジョン」の策定に向け取り組んでおります。

令和7年度は、本市の基幹浄水場である保呂羽浄水場の再構築事業において、管理・膜ろ過棟の建設工事が行われます。また、基幹管路の耐震化事業である水道管路緊急改善事業、重要給水施設配水管整備事業として、災害時の重要拠点となる各総合支所、主要医療機関への配水管を耐震管へ布設替えを行い、災害に備えた施設の強靱化と老朽施設の計画的な更新を進めていきます。

2 業務の予定量（予算第2条）

(1) 件数、水量

列	項 目	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	前年度比較
1	給水件数	件	30,000	30,000	30,000	0
2	配水量	m ³	8,759,450	8,887,710	8,740,040	△ 147,670
3	有効水量	m ³	7,969,140	7,902,590	7,584,140	△ 318,450
4	有効率（3列÷2列）	%	91.0	88.9	86.8	△ 2.1
5	有収水量	m ³	7,533,900	7,475,900	7,186,200	△ 289,700
6	有収率（5列÷2列）	%	86.0	84.1	82.2	△ 1.9
7	無収水量	m ³	435,240	426,690	397,940	△ 28,750
8	無収率（7列÷2列）	%	5.0	4.8	4.6	△ 0.2
9	無効水量	m ³	790,310	985,120	1,155,900	170,780
10	無効率（9列÷2列）	%	9.0	11.1	13.2	2.1

(2) 主な建設改良事業

(単位：千円)

項 目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	前年度比較
浄水施設整備事業	182,105	721,792	2,295,608	1,573,816
配給水施設整備事業	1,294,397	1,333,284	1,214,395	△ 118,889
計	1,476,502	2,055,076	3,510,003	1,454,927

※ 詳細は「7 主な建設改良工事」参照

3 収支の状況（予算第3条・第4条）

(1) 予算規模 = 58 億 8,645 万 1 千円

= 収益的支出（水道事業費用）－減価償却費＋資本的支出

(単位：千円)

項 目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	前年度比較
予算規模	3,962,832	4,373,833	5,886,451	1,512,618
収益的支出	2,829,848	2,733,131	2,855,687	122,556
減価償却費	1,183,213	1,185,374	1,195,224	9,850
資本的支出	2,316,197	2,826,076	4,225,988	1,399,912

(2) 水道事業収益は前年度比 5,804 万円増の 29 億 1,830 万 7 千円、水道事業費用は前年度比 1 億 2,255 万 6 千円増の 28 億 5,568 万 7 千円です。

資本的収入は前年度比 12 億 4,271 万 7 千円増の 28 億 5,557 万 8 千円、資本的支出は前年度比 13 億 9,991 万 2 千円増の 42 億 2,598 万 8 千円です。

(3) 令和 7 年度給水収益（水道料金）

給水収益は、近年の実績を基に増減率を乗じて算定しました。

新型コロナウイルス感染対策による生活習慣の変化など、一時的に小口径の家庭用使用水量の増加が見られましたが、令和 3 年度以降は減少に転じており、人口減少や節水器具の普及、社会経済情勢の影響等により、今後も給水収益の減少は続くものと見込まれます。

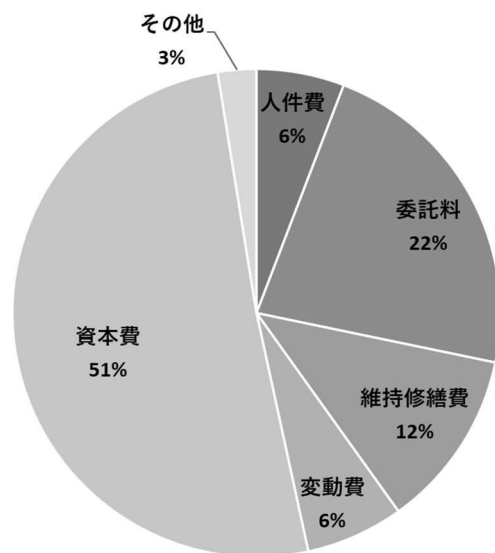
健全な経営状況を保持するため、令和 5 年 9 月に水道料金を改定した影響により、前年度は、給水収益が増加したものの、令和 7 年度には、調定水量は前年度より 290,800 m³少ない 7,132,200 m³となり、給水収益も 5,610 万円減の 24 億 1,780 万円を見込んでいます。

(4) 予定損益計算書における性質別費用分析

(単位：千円)

項 目	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	前年度比較
人件費	170,446	140,493	159,729	19,236
委託料	558,431	579,148	615,488	36,340
維持修繕費	312,751	299,486	325,231	25,745
変動費	229,445	199,284	177,820	△ 21,464
資本費	1,379,527	1,337,430	1,395,542	58,112
その他	67,827	68,774	69,960	1,186
計	2,718,427	2,624,615	2,743,770	119,155

令和 7 年度予定損益計算書性質別費用の内訳



性質別費用分析では、資本費(減価償却費、除却費、支払利息)が全体の51%を占めています。また、人件費は6%、委託料が22%を占め、業務の遂行にあたる人的費用は全体の28%となっています。

維持修繕費は前年度から1ポイント増で12%となっています。

変動費は動力費で水道水を作るための直接的経費であり、前年度から2ポイント減の6%となっています。水需要の変動に関わらない費用(固定的経費)がほとんどを占めています。

4 企業債（予算第5条）

（単位：千円）

項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	前年度比較
取水施設整備事業	6,600	0	0	0
浄水施設整備事業	68,400	40,100	10,900	△ 29,200
配水管整備事業	348,000	328,000	317,100	△ 10,900
配水施設整備事業	0	8,200	42,700	34,500
管路緊急改善事業	191,000	215,000	236,900	21,900
保呂羽浄水場再構築事業	0	362,200	1,113,800	751,600
重要給水施設配水管整備事業	0	34,000	23,000	△ 11,000
計	614,000	987,500	1,744,400	756,900

5 職員給与費（予算第7条）

(1) 職員数

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 決 算 値		24名	25名	24名	24名（予算値）
うち	② 正規職員	24名	23名	22名	22名
	③ 再任用職員	0名	1名	1名	1名
	④ 会計年度任用職員	0名	1名	1名	1名

※ 4月1日現在の状況

(2) 職員給与費：2億1,252万8千円

(単位：千円)

項 目		単位	損益勘定	資本勘定	合 計	備考
特別職	人 数	人	12	0	12	・ 上下水道事業運営審議会
	報 酬	千円	146	0	146	
一般職	人 数	人	18	6	24	・ 手当には、賞与等引当金繰入額及び退職手当組合負担金並びに退職給付引当金繰入額を含む ・ 法定福利費には、賞与引当金繰入額を含む
	給 料	千円	71,022	25,220	96,242	
	手 当	千円	65,983	18,979	84,962	
	法定福利費	千円	22,711	8,467	31,178	
	一般職 計	千円	159,716	52,666	212,382	
給与費合計		千円	159,862	52,666	212,528	

6 一般会計からの繰入（予算第8条ほか）

(1) 繰入金明細

(単位：千円)

項 目	A 負担金	B 補助金	C 出資金	D 合 計
消火栓等に要する経費	40,400	0	0	40,400
児童手当に要する経費	1,080	0	400	1,480
基礎年金拠出金に要する経費	0	0	0	0
小規模水道施設維持管理に要する経費	0	1,350	0	1,350
統合簡易水道（東和）経費	0	360	3,326	3,686
統合簡易水道（石越）経費	0	477	8,753	9,230
統合簡易水道（横山）経費	0	1,358	18,836	20,194
災害復旧費	0	69	2,218	2,287
水道管路耐震化事業の出資	0	0	9,800	9,800
保呂羽浄水場再構築事業の出資	0	0	140,500	140,500
計	41,480	3,614	183,833	228,927

(2) 繰入金の推移

(単位：千円)

令和5年度	令和6年度	令和7年度	前年度比較
252,114	235,839	228,927	△ 6,912

7 主な建設改良工事

No.	事業名	目的	事業概要	金額 (千円)
1	浄水施設整備事業	浄水処理と水質管理の安定	・各浄水施設設備（沈殿池残留塩素系等）の経年劣化による更新事業	18,480
2	配水管整備事業	安定給水の確保と災害対策	・給水申込み等による布設工事 ・老朽管更新等による布設替工事 ・他事業工事等による移設工事	565,510
3	水道管路緊急改善事業	安定給水の確保と災害対策	・基幹管路の耐震管（ダクタイル鋳鉄管）更新事業	454,080
4	機器整備事業	配給水施設の安定した運転管理等	・各配水池設備（水位計等）の経年劣化による更新事業	73,425
5	保呂羽浄水場再構築事業	浄水処理と水質管理の安定	・保呂羽浄水場再構築事業工事 ・保呂羽浄水場再構築事業工事監理等支援業務 ・保呂羽浄水場再構築事業（アスベスト調査）	2,268,436
6	重要給水施設配水管整備事業	安定給水の確保と災害対策	・医療機関等まで布設された配水管の耐震管（ダクタイル鋳鉄管）更新事業	42,350

※起債対象事業費（工事関係）のみ記載（給水メーター購入等、起債対象外事業費は除く）

2. 資本的支出財源内訳

単位：千円

事業名 (事業詳細)		令和6年度 当初予算額	令和7年度 当初予算額	左の財源内訳						
				A 企業債	B 負担金	C 補償金	D 補助金	E 出資金	F 加入金	G 留保資金
1	資本的支出	3,597,076	4,225,988	1,744,400	11,550	10,000	899,831	183,833	5,964	1,370,410
2	建設改良費	2,826,076	3,512,365	1,744,400	11,550	10,000	899,831	150,700	5,964	689,920
3	取水・浄水施設整備費	721,792	2,297,970	1,124,700	0	0	735,638	140,500	0	297,132
4	(1) 取水施設整備事業費	0	2,362	0	0	0	0	0	0	2,362
5	①その他	0	2,362	0	0	0	0	0	0	2,362
6	(2) 浄水施設整備事業費	721,792	2,295,608	1,124,700	0	0	735,638	140,500	0	294,770
7	①浄水施設整備事業	67,210	18,480	10,900	0	0	0	0	0	7,580
8	②保呂羽浄水場再構築事業	645,775	2,268,436	1,113,800	0	0	735,638	140,500	0	278,498
9	③事務費(職員給与費)	8,106	8,375	0	0	0	0	0	0	8,375
10	④事務費(その他)	701	317	0	0	0	0	0	0	317
11	配給水施設整備費	1,333,284	1,214,395	619,700	11,550	10,000	164,193	10,200	5,964	392,788
12	(1) 配水管整備事業費	586,300	565,510	317,100	11,550	10,000	0	2,600	5,964	218,296
13	①配水管布設事業	23,980	34,650	10,100	11,550	0	0	0	5,964	7,036
14	②配水管布設替事業	358,160	375,573	222,900	0	0	0	2,600	0	150,073
15	③配水管移設事業	204,160	155,287	84,100	0	10,000	0	0	0	61,187
16	(2) 機器整備事業費	43,368	107,236	42,700	0	0	0	0	0	64,536
17	①機器整備費	13,970	73,425	42,700	0	0	0	0	0	30,725
18	②水道メーター整備費	29,398	33,811	0	0	0	0	0	0	33,811
19	(3) 管路緊急改善事業	605,000	454,080	236,900	0	0	151,360	6,500	0	59,320
20	(4) 重要給水施設配水管整備事業	55,000	42,350	23,000	0	0	12,833	700	0	5,817
21	(5) 事務費(職員給与費)	42,653	44,291	0	0	0	0	400	0	43,891
22	(6) 事務費(その他)	963	928	0	0	0	0	0	0	928
23	企業債償還金	771,000	713,623	0	0	0	0	33,133	0	680,490
24	建設改良費等の財源に充てるための企業債	769,826	712,444	0	0	0	0	31,954	0	680,490
25	その他の企業債	1,174	1,179	0	0	0	0	1,179	0	0

令和7年度
水道事業計画箇所図

浄水施設整備事業

No.	施工場所	事業概要		備考
1	登米町寺池道場内 (保呂羽浄水場)	炭酸ガス装置	炭酸ガス装置1台	経年劣化
2	石越町南郷字高森地内 (石越浄水場)	沈澱池残留塩素計	残留塩素計1台	経年劣化
3		次亜塩素酸ナトリウム 貯留槽	貯留槽一式	経年劣化
4	東和町米谷字大嶺地内 (錦織浄水場)	テレメータ設備	テレメータ設備一式	専用回線サービス終了
5	東和町米谷字大嶺地内 (米谷浄水場)	テレメータ設備	テレメータ設備一式	専用回線サービス終了
6	東和町米川字町地内 (米谷浄水場)	次亜塩素酸ナトリウム 注入設備	注入設備一式	経年劣化
計		18,480千円		

配給水施設機器整備費

No.	施工場所	事業概要		備考
1	市内一円	給水メーター	給水メーター	起償対象外
2	石越町南郷字高森地内 (石越配水池)	水位計	水位計3台	経年劣化
3	豊里町保手地内 (保手配水池)	水位計	水位計1台	経年劣化
4		仕切弁	バイパス1箇所	新設
5	東和町米谷字根郷地内 (米谷第1配水池)	水位計	水位計1台	経年劣化
6		テレメータ設備	テレメータ設備一式	専用回線サービス終了
7	東和町米谷字越路地内 (米谷第2配水池)	水位計	水位計1台	経年劣化
8		テレメータ設備	テレメータ設備一式	専用回線サービス終了
9	東和町錦織字丸森地内 (嵯峨立配水池)	水位計	水位計1台	経年劣化
10	東和町米谷字岩の沢地内 (平倉配水池)	水位計	水位計1台	経年劣化
11		テレメータ設備	テレメータ設備一式	専用回線サービス終了
12	登米町大字日根牛上羽沢地内 (上羽沢増圧ポンプ場)	加圧タンク	加圧タンク1台	経年劣化
13	迫町北方字丸森地内 (北方配水池)	残留塩素計	残留塩素計1台	経年劣化
14	登米町大字日根牛中山地内 (日根牛配水池)	仕切弁	バイパス1箇所	新設
15	市内一円	給水タンク等	給水タンク等	起償対象外
計		107,236千円		

重要給水施設配水管事業

No.	施工場所	事業概要		備考
1	東和町米谷字元町地内	DCIP φ100mm	L= 420m	耐震化 (既設管DCIPφ100mm)
計		42,350千円		工事延長 L=420m

保呂羽浄水場再構築事業

No.	施工場所	事業概要	備 考
1	登米町寺池地内	保呂羽浄水場再構築事業工事	老朽化
2		保呂羽浄水場再構築事業工事監理等支援業務	老朽化
3		保呂羽浄水場再構築事業アスベスト調査	老朽化
計		2,268,436千円	

管路緊急改善事業

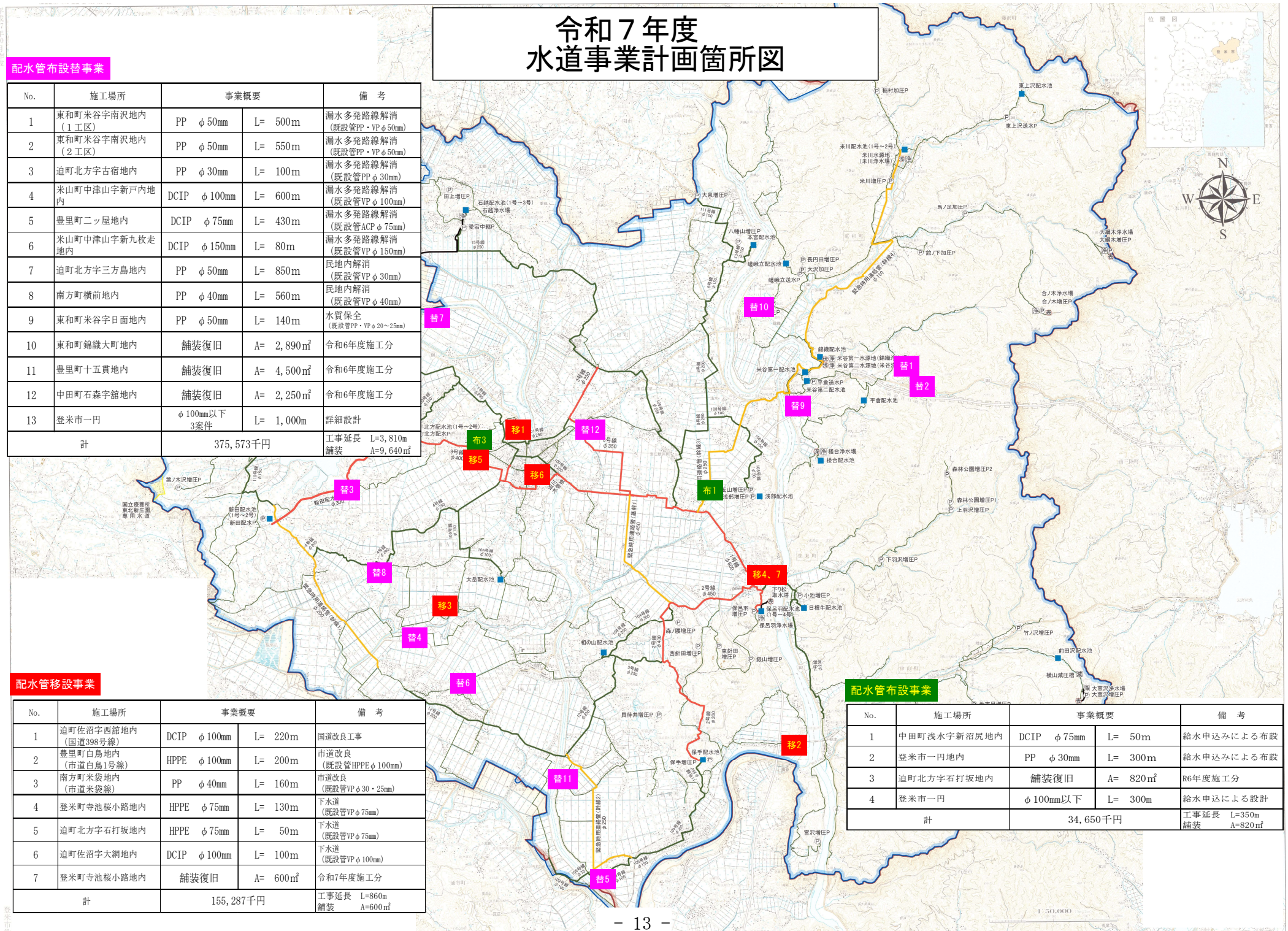
No.	施工場所	事業概要		備考
1	登米町寺池地内	DCIP φ600mm	L= 170m	40年以上の経年管更新 (既設DCIPφ600mm)
2	迫町佐沼字新大東地内	DCIP φ500mm	L= 423m	40年以上の経年管更新 (既設DCIPφ500mm)
計		454,080千円		工事延長 L=593m

配水管布設替事業

No.	施工場所	事業概要		備考
1	東和町米谷字南沢地内 (1工区)	PP φ50mm	L= 500m	漏水多発路線解消 (既設管PP・VPφ50mm)
2	東和町米谷字南沢地内 (2工区)	PP φ50mm	L= 550m	漏水多発路線解消 (既設管PP・VPφ50mm)
3	迫町北方字古宿地内	PP φ30mm	L= 100m	漏水多発路線解消 (既設管PPφ30mm)
4	米山町中津山字新戸内地 内	DCIP φ100mm	L= 600m	漏水多発路線解消 (既設管VPφ100mm)
5	豊里町ニッ屋地内	DCIP φ75mm	L= 430m	漏水多発路線解消 (既設管ACPφ75mm)
6	米山町中津山字新九枚走 地内	DCIP φ150mm	L= 80m	漏水多発路線解消 (既設管VPφ150mm)
7	迫町北方字三方島地内	PP φ50mm	L= 850m	民地内解消 (既設管VPφ30mm)
8	南方町横前地内	PP φ40mm	L= 560m	民地内解消 (既設管VPφ40mm)
9	東和町米谷字日面地内	PP φ50mm	L= 140m	水質保全 (既設管PP・VPφ20～25mm)
10	東和町錦織大町地内	舗装復旧	A= 2,890㎡	令和6年度施工分
11	豊里町十五貫地内	舗装復旧	A= 4,500㎡	令和6年度施工分
12	中田町石森字館地内	舗装復旧	A= 2,250㎡	令和6年度施工分
13	登米市一円	φ100mm以下 3案件	L= 1,000m	詳細設計
計		375,573千円		工事延長 L=3,810m 舗装 A=9,640㎡

配水管移設事業

No.	施工場所	事業概要		備考
1	迫町佐沼字西館地内 (国道398号線)	DCIP φ100mm	L= 220m	国道改良工事
2	豊里町白鳥地内 (市道白鳥1号線)	HPPE φ100mm	L= 200m	市道改良 (既設管HPPEφ100mm)
3	南方町米袋地内 (市道米袋線)	PP φ40mm	L= 160m	市道改良 (既設管VPφ30・25mm)
4	登米町寺池桜小路地内	HPPE φ75mm	L= 130m	下水道 (既設管VPφ75mm)
5	迫町北方字石打坂地内	HPPE φ75mm	L= 50m	下水道 (既設管VPφ75mm)
6	迫町佐沼字大網地内	DCIP φ100mm	L= 100m	下水道 (既設管VPφ100mm)
7	登米町寺池桜小路地内	舗装復旧	A= 600㎡	令和7年度施工分
計		155,287千円		工事延長 L=860m 舗装 A=600㎡

令和7年度
水道事業計画箇所図

配水管布設事業

No.	施工場所	事業概要		備考
1	中田町浅水字新沼尻地内	DCIP φ75mm	L= 50m	給水申込みによる布設
2	登米市一円地内	PP φ30mm	L= 300m	給水申込みによる布設
3	迫町北方字石打坂地内	舗装復旧	A= 820㎡	R6年度施工分
4	登米市一円	φ100mm以下	L= 300m	給水申込による設計
計		34,650千円		工事延長 L=350m 舗装 A=820㎡